令和４年度　春期　情報処理安全確保支援士試験　採点講評

午後 II 試験

問１

問 1 では，Web サイトのセキュリティを題材に，脆弱性に関する知識，開発プロセスについて出題した。全体として正答率は平均的であった。

設問 3(2)は，正答率が低かった。クリックジャッキングの対策に使うレスポンスヘッダについては，標準化の動向を含めて正しく理解しておいてほしい。

設問 5(2)は，正答率が低かった。脆弱性対策のために必要な実装は，システムによって異なる場合がある。システムごとに最適な方法を検討できるようにしておいてほしい。

設問 6(1)は，正答率が低かった。脆弱性の種類によって，検出に有効な手段が異なる。それぞれの脆弱性について，どのような検出手段が有効かを理解しておいてほしい。

設問 6(4)は，正答率が低かった。ソフトウェア開発に使われているフレームワークにどのような脆弱性対策が組み込まれているかを知っておいてほしい。

問２

問 2 では，クラウドサービスへの移行を題材に，各種認証の仕組み，認証に関するセキュリティ対策について出題した。全体として正答率は平均的であった。

設問 1(3)及び(5)は，正答率が低かった。HTTP と TLS に関する問題であったが，DNS と混同していると思われる解答が多かった。CDN を悪用したドメインフロンティング攻撃は，標的型攻撃などでもよく登場する攻撃手法なので，是非知っておいてほしい。

設問 2(2)は，正答率が平均的であった。オフラインにおける総当たり攻撃の問題であったが，パスワードスプレー攻撃などパスワードに対するオンラインの攻撃手法に言及した解答も散見された。パスワードに対する攻撃手法の種類や違いについて，理解を深めてほしい。

設問 4(3)は，正答率が低かった。OAuth 2.0 のメカニズムと攻撃手法は，安全な API アクセスの実現のために必要な知識なのでよく理解してほしい。

設問 5(4)は，正答率が低かった。OpenID Connect のメカニズムと攻撃手法は，安全な認証基盤の実現のために必要な知識なのでよく理解してほしい。